

## I 第41週の発生動向 (2016/10/10~2016/10/16)

1. むつ保健所管内では、流行性耳下腺炎の**注意報**が解除されましたが、今週も県内の全保健所の中で、定点当たりの患者報告数が最も多くなりました。
2. RSウイルス感染症は、県全体では患者報告数が減少しましたが、**東地方保健所+青森市保健所**、**五所川原保健所**管内では報告数が**増加**しました。なお、全国的には、第38週に報告数がいったん減少しましたが、増加傾向が続いています。
3. マイコプラズマ肺炎は、**むつ保健所**管内で、患者報告数が再び**増加**しました。

## II 第41週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科															0	
小児科	インフルエンザ															
	RSウイルス感染症	12	1.50	17	1.89	7	0.70	15	3.00	4	0.67	6	1.50	61	1.45	-15
	咽頭結膜熱					2	0.20							2	0.05	-1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	15	1.67	14	1.40					1	0.25	32	0.76	-27
	感染性胃腸炎	44	5.50	10	1.11	14	1.40	8	1.60			2	0.50	78	1.86	-9
	水痘					1	0.10					3	0.75	4	0.10	3
	手足口病	1	0.13	5	0.56	3	0.30	1	0.20	2	0.33	1	0.25	13	0.31	-7
	伝染性紅斑									2	0.33			2	0.05	-3
	突発性発しん	2	0.25	2	0.22	7	0.70	1	0.20	2	0.33	1	0.25	15	0.36	-1
	百日咳															-1
ヘルパンギーナ	10	1.25			9	0.90	2	0.40	2	0.33	5	1.25	28	0.67	-55	
流行性耳下腺炎	4	0.50							4	0.67	9	2.25	17	0.40	-6	
眼科																
急性出血性結膜炎															0	
流行性角結膜炎					4	2.00							4	0.36	1	
クラミジア肺炎															0	
細菌性髄膜炎															0	
マイコプラズマ肺炎					1	1.00					11	11.00	12	2.00	3	
無菌性髄膜炎															0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

# 感染症の窓

## マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患)

マイコプラズマ肺炎は肺炎マイコプラズマという細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因としては、比較的多いものの1つで、2015年の青森県内の患者報告数の半数が5歳以下でした。潜伏期間は2~3週間で、発熱、だるさ、頭痛、痰を伴わない咳などの症状が見られます。咳は熱が下がった後も長期(3~4週間)にわたって続くのが特徴です。

2016年の青森県内では、第37週(9/12~9/18)から患者報告数が増加し、第39週をピークに減少し、第41週には再び増加しています。マイコプラズマ肺炎は冬に報告数がやや増加する傾向があるため、今後の**発生動向に注意**が必要です(図)。なお、**むつ保健所管内**では、依然として患者報告数が多い状態が続いているため、**十分注意**が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、患者の咳のしぶきを吸い込んだり、患者と身近で接触することにより感染すると言われています。**予防**のためには**マスク**を着用し、普段から、**手洗い**をすることが大切です。

マイコプラズマ肺炎は、患者の咳のしぶきを吸い込んだり、患者と身近で接触することにより感染すると言われています。**予防**のためには**マスク**を着用し、普段から、**手洗い**をすることが大切です。

○詳しくはこちらをご覧ください→[厚生労働省 HP \(マイコプラズマ肺炎に関するQ&A\)](#)

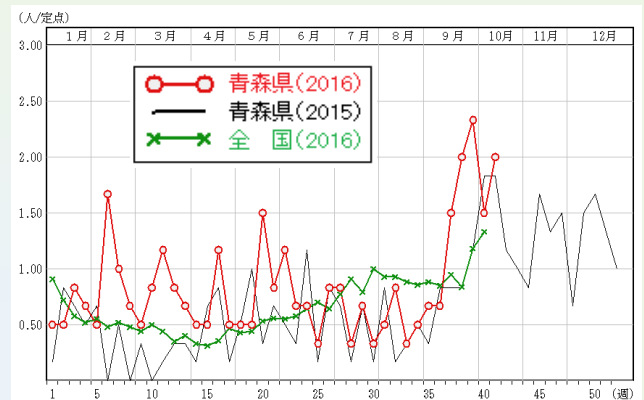


図 マイコプラズマ肺炎 定点当たり報告数 (2016年青森県 2015年青森県 2016年全国)

### Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：弘前2人、八戸1人、上十三1人 (2016年計:234人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：上十三1人 (2016年計:91人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：上十三1人 (2016年計:16人)

### Ⅳ 病原体検出情報 ※( )内は、検査材料及び検体採取日です。

- 風しん疑い患者(咽頭ぬぐい液、血液、9/20)・・・エコーウイルス9型及びヒトライノウイルスC：八戸1人
- 下気道炎患者(腸内容物、9/20)・・・ヒトライノウイルスA及びコクサッキーウイルスA：八戸1人
- 上気道炎患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、9/16～9/17)・・・
- ヒトライノウイルスC：八戸1人、RSウイルスB：八戸1人
- 感染性胃腸炎患者(腸内容物、9/16)・・・ヒトライノウイルスA：八戸1人
- ヘルパンギーナ患者(咽頭ぬぐい液、9/21)・・・エコーウイルス9型：青森市1人

### Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016年第38週～2016年第41週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
38	H28.9.19 ~ H28.9.25		梅毒1人		レジオネラ症1人		
39	H28.9.26 ~ H28.10.2		梅毒1人	梅毒1人			
40	H28.10.3 ~ H28.10.9	細菌性赤痢1人		カルバベネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人
41	H28.10.10 ~ H28.10.16					腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人	

### Ⅵ 結核(二類全数把握疾患) (2016年第38週～2016年第41週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
38	H28.9.19 ~ H28.9.25		2	1	1		
39	H28.9.26 ~ H28.10.2	4	2	1		2	
40	H28.10.3 ~ H28.10.9		2	3			
41	H28.10.10 ~ H28.10.16		2	1		1	

### Ⅶ 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県) (注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

#### 全国 (2016年第1週～第40週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病	
累積報告数	18457	8	101	2997	46	14	308	229	15	5	

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	
累積報告数	7	3	9	46	1	12	98	289	193	4	

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバベネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	4	43	7	1193	58	886	214	1143	619

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	11	139	392	1114	54	241	36	1969	230	3388

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	101	100	43	111	144	31

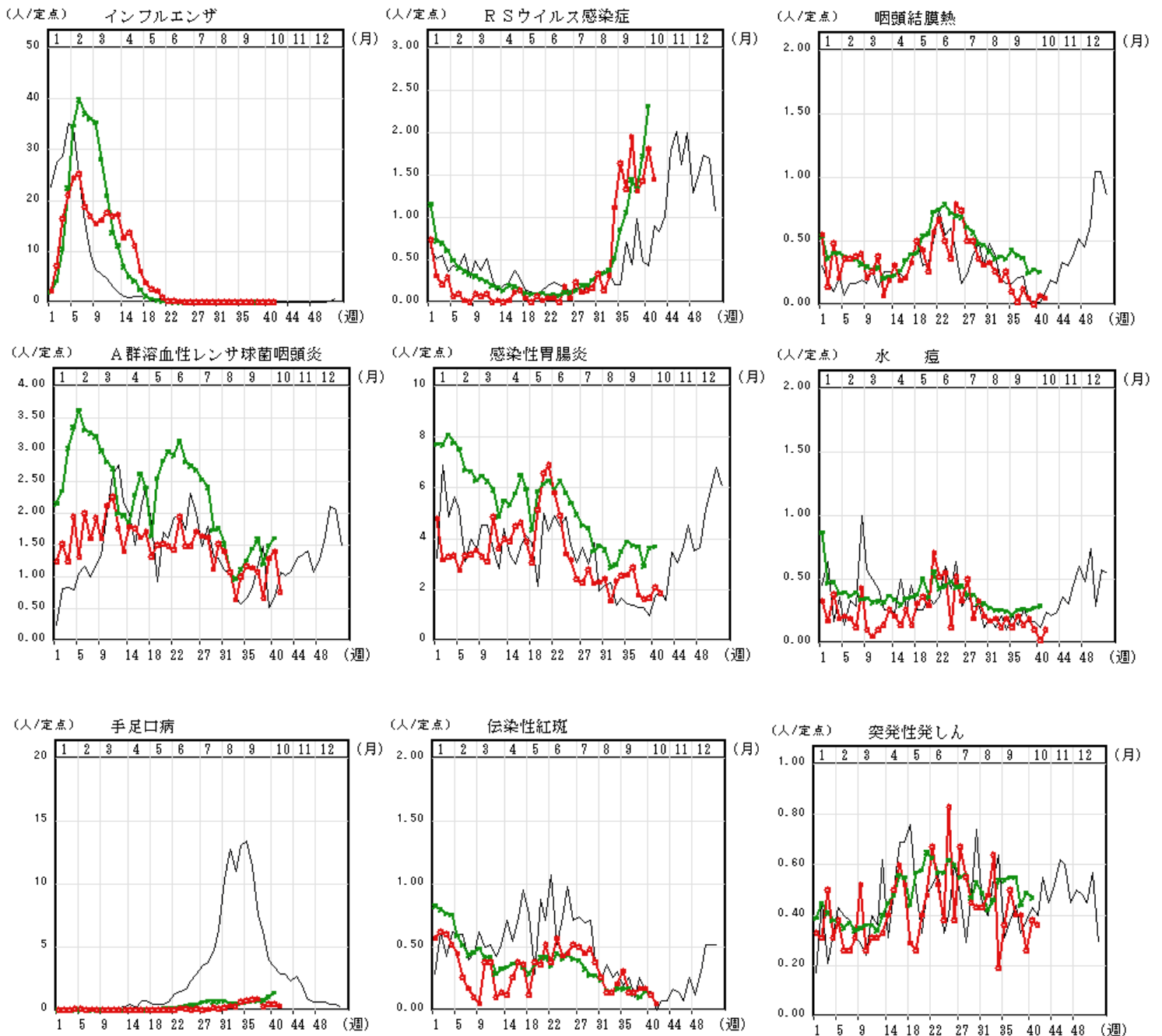
青森県 (2016年第1週～第41週累計)

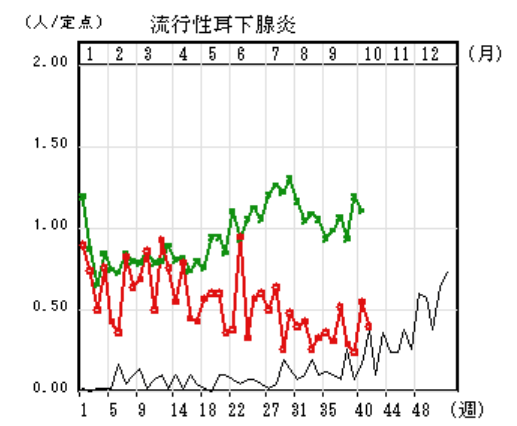
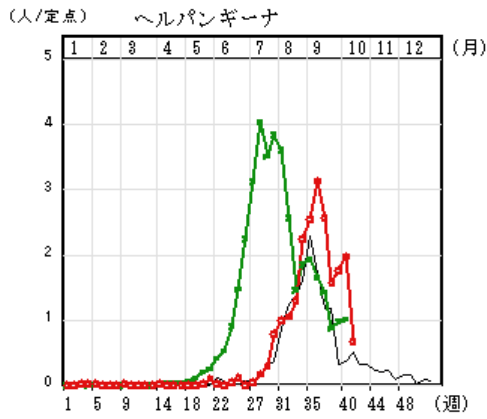
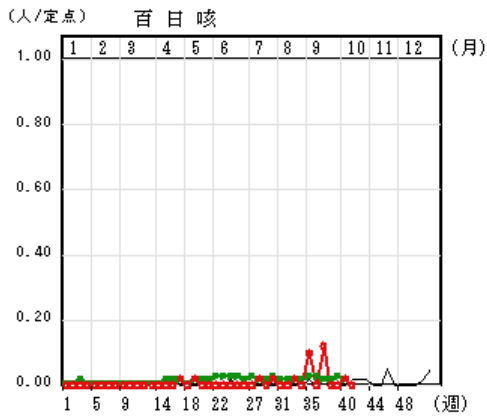
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	234	1	91	5	3	1	5	5	3	11

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	1	3	3	2	7	3	16

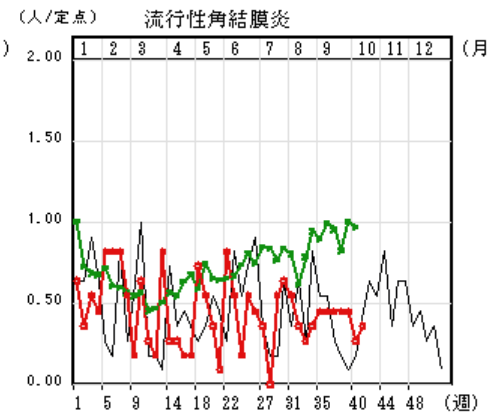
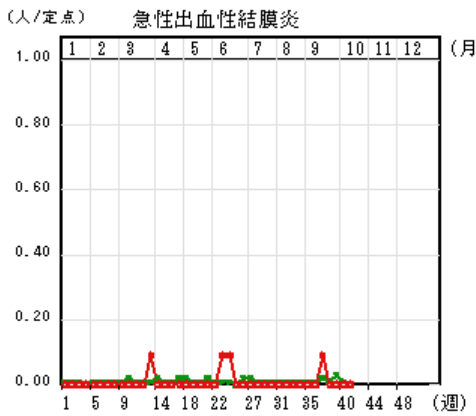
VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第41週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、×—×は2016年全国

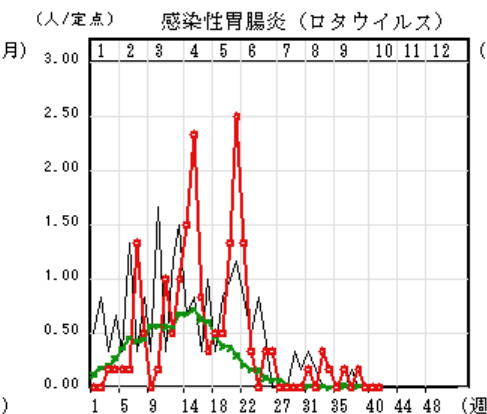
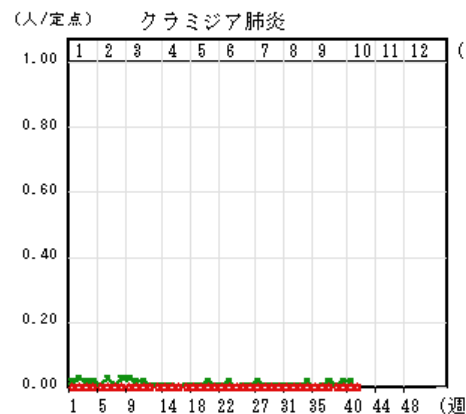
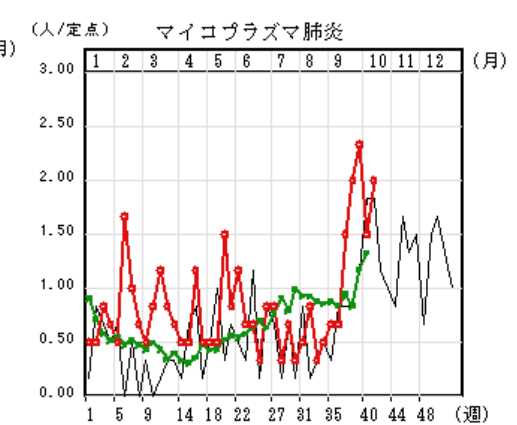
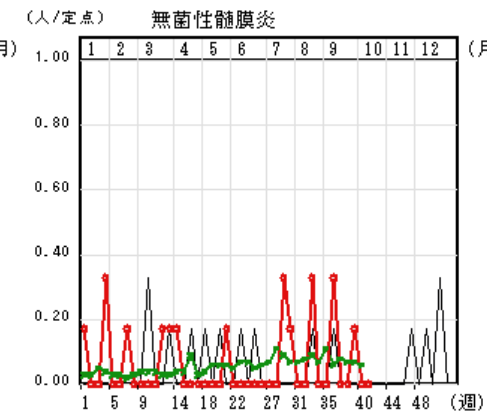
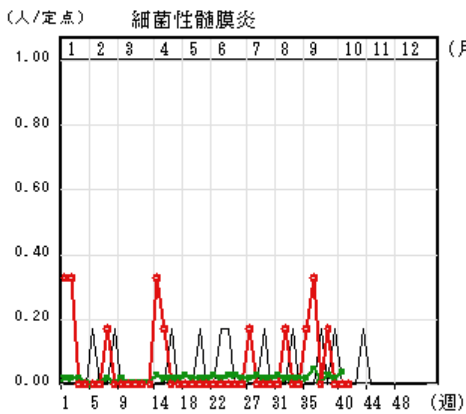




**IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第41週、ただし全国は前週)**



**X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第41週、ただし全国は前週)**



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第41週  
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39週	40週	41週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	0	0	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	0	0	308